

事業所名

児童デイサービス つぼみ

支援プログラム

作成日

2024年

12月

28日

法人（事業所）理念	施設・法人あかりの家の究極的な役割は、自閉症の人たちの可能性を切り拓き、兵庫県自閉症の人たちに様々な人生を実践的に提供することにある。児童デイ事業所としては早期療育より、少しでもこれからの人生における生きづらさを減らして行けるような支援を実施する。また、地域の小学生を中心に社会性の向上を目的に小集団でのコミュニケーション支援、ソーシャルスキル支援にも取り組んでいく。					
支援方針	大人になった時に自分らしく社会の中で生きていくことができるよう“発達の芽”を療育支援によって育てます。					
営業時間	8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	なし（基本的には行っていないが、必要に応じて送迎を実施）
支援内容						
本人支援	健康・生活	生活全般における状況を保護者と共に確認、把握し生活リズムの確立に必要な支援を行う。具体的には睡眠関係の把握、それぞれの児童に必要な睡眠状況を考え、保護者への必要な助言をさせてもらうなど。また、トイレトレーニングなど、発達段階に応じて定時誘導から自発できな排泄の確立等へとつなげていけるように支援していく。必要な健康状態の把握はもちろん、必要に応じて流行性疾患における健康状態の把握（検温等）の実施。				
	運動・感覚	基本姿勢の維持、確立。課題、学習時の姿勢の確立および維持。指先を使った細かな活動による感覚、器用さの向上。小集団での体操、歌やダンスなど粗大運動による身体の使い方や周囲への意識の向け方、気づきの促し等。状況に応じて、感覚的な過敏さ、苦しさへの配慮や個別での対応を（個室の利用等）行う。				
	認知・行動	発達段階に応じた認知活動の実施。具体物や写真、絵カードなどを使った支援によるマッチング。天気や曜日、時間など日常生活における意識への理解。わかりづらさに対する理解、わかりやすさをポイントにした伝え方による行動の整理。こだわりなどによる行動の固執、パターン化への支援による行動障害の予防。				
	言語コミュニケーション	挨拶をはじめ、自発的に伝えるという機会を積極的に設ける。自分の気持ちをうまく伝えることが難しいことを理解した上で、支援者がすべてをくみ取るのではなく本人が伝えたい、伝えることができたという実感を大切に支援する。				
	人間関係社会性	非常に難しい課題にはなるが、人間関係を築いていく上で必要なソーシャルスキルトレーニングをはじめ、他者の気持ちや視点を理解出来るような関わり、また、社会的なマナーの学習等、地域生活において必要なスキルの獲得に支援の実施。				
家族支援	半年に1回の面談を実施。それ以外にも保護者からの要望、その他必要に応じて面談等を行い、児童の状況を把握、必要な助言等を行わせていただく。	移行支援	所属園、所属学校等との情報共有をもとに、進学、就職などの際に必要な支援や助言を行うようにする。			
地域支援・地域連携	地域における課題への取り組み、また関係機関との連携により課題の解決に向けた取り組みへの協力を行う。その際、事業所での活動内容や利用児童の特性、状況を共有し地域への理解を求められるように働きかける。	職員の質の向上	法人研修への参加（事例研究会 虐待防止研修会等）			
主な行事等	夏休み企画（レク） クリスマス会等の季節行事の実施					